

児童発達支援評価表アンケート結果に基づく改善点

(事業所向け課題)

1. 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。

【説明及び改善点として】

平成29年12月に評価を実施しました。その後改善につなげています。

2. 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所と自己評価表の行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。

【説明及び改善点として】

平成29年度を平成30年度に公開する平成30年度分は平成31年3月までに公表する予定です。

(保護者向け課題)

1. 子どものスペースが確保されているか。

* お部屋のスペースというよりは戸外遊びのスペースが少ない、運動量が足りていないのではないかとのご心配の意見をいただきました。

【説明及び改善点として】

来年度から年少は乳児園のテラスや商店街の散歩、年中年長は愛児園の運動場へ遊びに行く頻度を増やすようにしていきたいと思えます。

運動量は、階段を日常的に使用する事で、足腰を鍛え体力づくりが出来るよう意識しています。

2. 職員の配置数や専門性はあるか。

* 状況によっては大変そうに見えろとご意見いただきました。

【説明及び改善点として】

職員配置については基準よりも多く配置しております。

国が定めた職員配置数は契約書の重要事項説明書に掲載されていますので、ご確認ください。

その日の子どもの状況によってクラス全体が落ち着かないこともあり、大変そうに感じられたかもしれせん。子どもたちが安心して過ごせるよう今後も気を付けていきます。

3. 保育所や認定こども園、幼稚園との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか

*もう少し頻繁にあると嬉しいとご意見がありました。

【説明及び改善点として】

現在小田原愛児園との交流保育を年間 10 回程度行っています。

愛児園や乳児園に遊びに行く頻度を増やすことは検討していますので、少しずつ増えていくと思います。

うみが開所してからは、お餅つきや音楽会にも声をかけてもらい、体制や子どもの状況を見て参加させていただいています。

4. 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。

*ガイドラインがわからないとご意見いただきました。

【説明及び改善点として】

厚生労働省HPに掲載されていますのでご確認ください。

5. 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)がおこなわれているか。

*もっと回数を増やしてほしい・支援方法を教えて欲しい・ペアトレの会をやってほしい・園からの働きかけは特にない等複数ご意見いただきました。

【説明及び改善点として】

個別や保育参加等で園での支援方法を、月 3 回の個別支援の際家庭での支援方法をお伝えするようにはしていましたが、今後より具体的にお伝えできるようにしていきたいと思います。来年度ペアレントトレーニング研修を検討していきたいと思います。

6. 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達状況、課題について共通理解ができているか。

*バス通園だからあまり話す機会がない・当日何をしたのかももっと知りたい等ご意見いただきました。

【説明及び改善点として】

当日の様子については連絡帳で日課内容のみお伝えしています。詳しくお伝え出来ない日々様子は、親子個別の時間にお伝えできるよう職員に再度周知いたします。

7. 緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を策定し保護者に周知、説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。

*保護者向けの緊急時対応がわからない・説明を受けていない等ご意見いただきました。

【説明及び改善点として】

感染症につきましては、感染症がはやり始めた際保健だよりとして症状や対処法等お知らせしていますので、ご参照ください。

緊急対応時マニュアルは策定しておりますが、保護者の方には周知しておりませんでした。毎年年度始めに配布できるようにしてきます。

多数の貴重なご意見ありがとうございました。今後より良い支援が出来るよう参考にさせていただきます。